岩手県立生涯学習推進センター
研修実施報告 Web版

実 施 日：令和２年９月 24 日（木）
実施場所：県立生涯学習推進センター
受講者数：25 名

事業プログラム企画運営研修講座

職　員　研　修
有志指導者研修
要　請　研　修

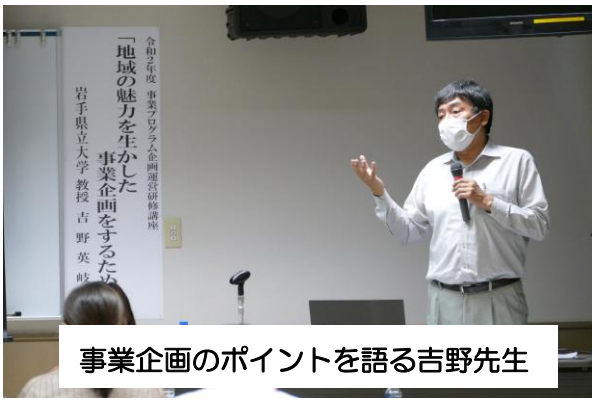
この研修講座は、事業プログラムの企画・運営力を高めることや地域の魅力を生かした事業プログラムの作り方を学ぶことを目的に、各市町村で事業に直接携わる方を対象に実施しました。25 名が受講し、講義と演習を通して学びました。

◆【講義】「地域の魅力を生かした事業企画をするために」

岩手県立大学総合政策学部の吉野英岐（よしの　ひでき）教授を講師にお招きして、「地域の魅力を生かした事業企画をするために」と題して、講義と演習を御指導いただきました。

午前中の講義では、地域住民としての帰属意識を育むことが大切であり、「理」（知っている＝知識）と「情」（愛着がある＝感情）は、共に大切な行動原理ではあるが、「情」を育むことがより重要であるとお話をいただきました。

県内外の事例を紹介いただくことで、地域の活動のヒントを得ることができました。

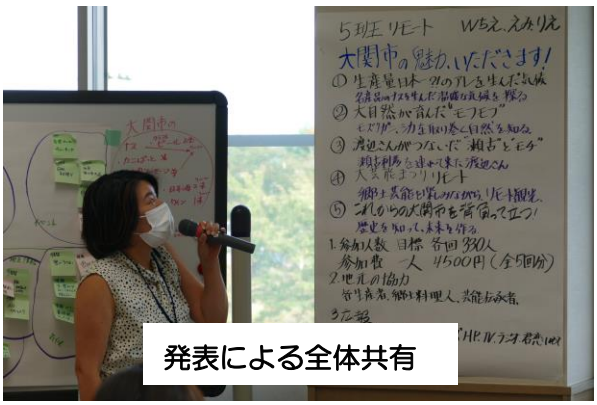


事業企画のポイントを語る吉野先生

◆【演習】「地域の魅力を生かした事業企画をするために」

午後の演習では、地域の魅力を考え、事業企画をグループごとに作ってみました。地域の魅力を「モノ」「ヒト」「コト」「情報」の４つに分けて書き出したうえで情報を整理し、アイデアをまとめ、それらをつなぎ合わせることで、５回の連続講座の事業企画にまとめました。受講者の皆さんは、楽しく地域の魅力を学べる事業企画になるよう最後まで熱心にまとめていました。

グループでの話し合いの様子



発表による全体共有

《受講者の声》

- 『核となるもの』と『＋α』をどう組み合わせるかで様々なプログラムができること、『ねらい』をどうするかで、方向性が変わることを改めて実感しました。
- 地域の特徴をピックアップしながら、企画することは地域活性化に有効であることを再認識しました。

《受講者の評価》

A（有意義）	72．0%
B（どちらかといえば有意義）	28．0%
C（どちらかといえば有意義でない）	0%
D（有意義でない）	0%

《担当者（渕）から》

演習をする中で、参加するみなさんが地域の魅力にどんどん気が付いていく様子が印象的でした。